

# がんばる商店街



以前は店が立ち並び、賑わいを見せていた商店街。しかし、次第に空き店舗は増え、後継者不足などによりその賑わいを失いつつあります。その状況を打開し、商店街の活気を取り戻そうとする取り組みを今回取材しました。

11月24日に開催される秋の市の会場となる折口市場



▲秋の市&キャンドルフェスタ実行委員会の様子

11月24日のいいふしの日に、枕崎市通り会連合会が主催する「まくらざき秋の市&キャンドルフェスタ」が開催されます。この催しは、空き店舗の増加、後継者不足等により賑わいが失われつつある市内商店街の活性化を図ろうと、既存の11通り会に、通り会のない桜山、金山、別府地区もそれぞれ通り会と銘打って参加し、初めて開催されるものです。テーマは「なつかしの昭和レトロ調横丁」。昔ながらのたまたまが残る折口市場や折口通り一帯が会場となります。

「折口レトロ露店街」では、各通り会による出店ブースやなつかしの玩具・駄菓子の販売、紙芝居が行われるほか、「昭和レト



## 活気を取り戻すため立ち上がった

ロステージ」では、各通り会によるなつかしの料理披露や通り会自慢などが予定されています。夜には3000本の竹灯籠が折口通り一帯に設置されます。また、Showwingランブリや鯉節誕生500年祭、南薩マルシェの同時開催などさまざまな催しが予定されています。

**通り会連合会発足**

活気が失われつつあった市内商店街。そんな中、「市内の11通り会が互いに協力し合い、そして枕崎を盛り上げていこう」と平成22年11月に枕崎市通り会連合会が設立されました。

しかし設立当初は、各団体から集められる会費のみの収入で資金がほとんどない状態でした。そんな中で「一体何ができるんだ？」と、特にこれといった活動もできない状況で、活気を取り戻すために様々な考えを巡らせていました。そんな時、県内の商店街グルメナンパワーズを決める「Showwingランブリ」への参加の誘いを受けたのが2年前のことでした。

これが「枕崎鯉節人めし」誕生のきっかけであり、連合会として初めての大きな取り組みとなりました。

